

# Rotary Yachiyo



UNITE  
FOR  
GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-26 年度国際ロータリーメッセージ

「よいことのために手を取りあおう」

2025-26 年度クラブテーマ

「親睦が原点」

## 週報 第2815回

2025年11月21日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

### 今回例会行事

テーマ：クラブ協議会

担当：戦略委員会

会員増強・60周年について

### 次回例会

テーマ：今後のグローバル株式市場展望と投資戦略

担当：出席委員会

卓話者：岡三証券 小川佳紀様

◆◆◆第2814例会◆◆◆

合いで活動が出来ないようです。

司会 市原正男

「我等の生業」「四つのテスト」 斉唱

### お客様

青少年交換留学生 レヒーナ ゼペダ様

### 会長挨拶

会長 中島貞好



今月はロータリー財団月間です。我がクラブの活動と財団支援を改めて見つめ直す重要な期間です。

先日もお知らせしましたが八千代市教育委員会から唯一の団体表彰を受けました。ユメセン事業に対するもので、杉会員には改めて感謝申し上げます。

最近熊のニュースが多くなっております。ロータリークラブやライオンズなどの奉仕団体も何かできないかと考えてはいても国や警察、また動物保護の団体等の兼ね

かつて軽井沢のごみ捨て場は鉄の箱に、重い蓋にしてごみをあさる事が出来ないう様にしました。結果、熊が出ることは10数年ありません。そういう面などで協力していかないと、今後も熊の被害がでるでしょう。また、土地の税金対策として収穫しない柿や栗の木を植えている方がいるのではないのでしょうか。そういう食べ物を求めて熊が出る為、伐採の呼びかけも行われているようです。奉仕団体として何ができるのかを考えていければと思います。

12/5に年次総会を開催します。定款細則の変更について協議いたしますので、ご案内を配布します。

### 幹事報告

幹事 朝戸健夫



### 【理事会報告】

- ・次年度理事役員案 承認
- ・12/5年次総会開催 本来は郵送する事

になっておりますが、本日配布いたします。  
・12/14ニューリバーロードレース開催 例年通りみかん配布を行います。  
・12/18クリスマス家族会開催。12/19の例会はありません。

## 表彰

長寿ロータリアン 遠藤章雄会員

米山功労者  
第15回メジャードナー 遠藤章雄会員



## お客様挨拶

青少年交換留学生 レヒーナ ゼペダ様



日本に来て、3か月経ちました。時間が本当にあつという間に過ぎたと感じています。楽しい事を沢山経験して、とても感謝しています。

学校生活もとても楽しくて、友達がクラスで笑わせてくれるので毎日が明るいです。最近音楽の授業が楽しくて、一番好きな受領かもしれません。毎日日本の学校とカナダの学校の違いを沢山感じています。特に生徒の授業への取り組み方はとても大きな違いだと思います。カナダでは先生に「ペアで話し合ってください」と言われてもあまりやらなくて自分のペースで進める事が

多いです。でも日本ではみんなちゃんとやるのでとても驚きました。この違いのお蔭で授業がより楽しく感じます。

ホストファミリーや友達ともとても楽しい時間を過ごしています。日本に来た時からずっと変わらない私のお気に入りの時間は、カラオケに行って、その後甘いものを食べに行く事です。ほとんどのお小遣いはこのふたつに使います。ついまた行きたくになります。来月も楽しみが沢山あると思うので、とてもワクワクしています。次のホストファミリーと過ごす時間も楽しみで、新しい事を沢山学びたいです。どうもありがとうございます。

## 委員会報告

ガバナー補佐 杉山智基

先週のラーニングセミナーでは多くの皆さまのご参加とお手伝いの下、無事に開催する事が出来ました。当日は寺島パストガバナーの講演後、後半のグループディスカッションでは80名を超える会員の皆さまにご参加頂きました事をご報告します。八千代ロータリークラブの皆さま、日下部グループ幹事にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

青少年プロジェクト統括委員長 田村隆治

11/1に開催した、伝統ある話芸は無事に終了いたしました。当日は108名の方に登録頂き、八千代ロータリークラブからも沢山の協力頂きました。希望の風には116,000円を寄付する事が出来ました。ありがとうございました。

親睦活動委員会 委員長 佐々木俊一

12/18(木)にウイシュトンホテルユーカリにてクリスマス家族会を開催します。皆さまにはご案内をお送りしますので、回答をお願い致します。

青少年奉仕委員会 委員長 稲山雅治

金杉君から報告がきました。ハロウィンの仮装大会で優勝したそうです。クロストレーキングの部活に参加して、友達も増えて交流し、バスケットのトライアウトを受ける予定だそうです。



本日は、レヒーナの学生生活の運営費の為、托鉢へご協力を宜しく申し上げます。

## お祝い

本人誕生日：田村会員



## 例会行事

R財団委員会 委員長 山浦恭宏

本日は先崎会員に銀行員の今と昔のテーマでお話頂きます。よろしく願い致します。

テーマ：銀行員の今と昔

卓話者：先崎 勇会員



皆様こんにちは。先崎でございます。昨年5月に八千代ロータリーに入会し、あっという間に1年半が経ちました。本日は初の卓話ということで大変緊張しておりますが、

私のこれまでの経験を振り返りながら皆様に少しでも楽しんでいただけるよう努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

初めに改めて自己紹介をさせていただきます。私は昭和43年4月、東京都足立区で長男として生まれました。一つ下の弟と二人兄弟です。自宅は鎌ヶ谷にあり、最寄り駅は京成松戸線の二和向台駅で、八千代台までは電車で40分弱の距離になります。両親ともに福島県出身で、結婚するまでは足立区の綾瀬で過ごしました。1996年に鎌ヶ谷出身の妻と結婚し、子供は1人。千葉県で暮らしてもうすぐ30年になります。長男はもう25歳、就職し今は一人暮らしをしており。妻との2人の生活を楽しくしております。現在、57歳。紹介していただいた山浦会員と同じ学年です。

千葉銀行への入行は1992年で、秋葉原支店を皮切りに、柏西口、本八幡南、新松戸、松戸、野田の川間、中山、流山の初石、船橋と、様々な支店を経験させていただきました。そして最初の支店長として我孫子の天王台支店に着任し、その後新松戸支店、茨城の守谷支店、葛西支店、そして現在の八千代支店と、合計14支店を経験してまいりました。転勤が多くて大変と思われるかもしれませんが、単身赴任は1度もありませんし、新たな地域、新たなお客さんと会えることが銀行員のやりがいだと思っておりますので、異動が大変だと思った事はありません。銀行員生活ももうすぐ34年となります。これまで出会ったお客様、先輩、同僚に支えられ、ここまで続けることができました。皆様のおかげです。

本日は、私が銀行員として入行した1992年と、現在の銀行業務がどのように変わったのかをテーマに、お話をさせていただきます。

まず、私が入行した1992年を皆様に思い出していただきたいと思えます。ChatGPTで検索してみると、1992年は「バブルの余韻」と「平成不況の始まり」が交錯した年であり、「明るいポップカルチャーと社会の現実味が入り混じる転換期でした」と出てきました。いまいちイメージしにくいかもしれませんが、当時のエピソードをいくつかご紹介します。

- ・山形新幹線つばさ開業:地方交通の整備が進み始めました。
- ・バブル崩壊が本格化:株価や地価の下落が続き、企業の不良債権問題が顕在化しました。「リストラ」や「就職氷河期」といった言葉が出始めたのもこの頃です。
- ・毛利衛さんが日本人初の宇宙飛行:スペースシャトル「エンデバー」に搭乗し、宇宙から帰還「やっぱり地球は青かった」という言葉は非常に印象的でした。
- ・バルセロナオリンピックもありました:日本は金メダル3個、銀メダル8個、銅メダル11個の計22を獲得しました。柔道では古賀俊彦選手と吉田秀彦選手、競泳では史上最年少の14歳、岩崎恭子選手が金メダルを獲得し、「今まで生きてきた中で一番幸せです」というコメントは大きな話題となりました。
- ・その年の流行語大賞はきんさん・ぎんさん。シングルチャートの年間1位は米米CLUBの「君がいるだけで」でした:スーパーファミコン・ストリートファイターⅢが社会現象になり、テレビアニメではドラゴンボールZ・ちびまる子ちゃん・クレヨンしんちゃんが人気、スタジオジブリ映画【紅の豚】が公開された年でもありました。

車好きの方のために調べたところ、当時の主流はバブル崩壊後ながらマークⅡ・クレスタ・チェイサーの「マークⅡ3兄弟」、「クラウン」「セフィーロ」などの中型セダンでした。スポーツカーの人気ランキングでは、1位日産スカイラインGTR、2位マツダRX-7、3位トヨタ スープラが若者の憧れでした。

スポーツの部門では、プロ野球ではセリーグはヤクルト、パリーグは西武が優勝。日本シリーズは第7戦までもつれ、西武ライオンズが3年連続11回目の日本一になった年でした。秋山・清原・デストラーデのクリーンアップ、渡辺久信・工藤公康・郭泰源・石井丈裕の4本柱が活躍、まさに西武の黄金期でした。ゴルフの賞金王はジャンボ尾崎、女子は塩谷育代でした。ジャンボ尾崎は5年連続・通算10回目の賞金王を獲得し、尾崎3兄弟の人気絶頂の時でした。中島常之、青木功、倉本昌弘も健在で、丸山茂樹が頭角を表し、翌年以降日本ゴルフ界をリードすることになります。日本のゴルフ人気は社会現象的に高まった時期でした。

ここで、金融や物価のデータで1992年と現在を比較してみました。特に金利の面では大きな変化があったことがお分かりいただけるかと思います。1992年当時は、まだ高金利の時代だったのです。

項目	1992年4月(概ね)	2025年11月(現在、予測)
日経平均	17,850円(4/10)	
円ドル(1992年4月)	128.4円(年126円前後)	
短期プライムレート	5.25%	2.25%
普通預金金利	0.5%	0.2%
1年の大口定期	4.15%(7月)	0.275%
ガソリン価格(レギュラー)	約120円/L	約170円/L
たばこ(マイルドセブン)	220円(1箱)	580円
たまご(10個パック)	170円	306円(7月の平均価格)
牛乳(1L)	150円	253円(2025年平均)
ビッグマック	380円	480円

次に、八千代市の状況を見てみましょう。1991年に人口が15万人を超えました。当時の市長は仲村和平市長で、1971年4月に就任され、1995年4月に退任されました。仲村市長は、当時最年少の市長として活躍された方です。トピックスとしては、八千代市は市政25周年を迎え、記念事業の一環としてアメリカ・テキサス州タイラー市と姉妹都市提携を結びました。また、千葉県内で18番目の商工会議所として八千代商工会議所が設立されたのも、この1992年でした。

八千代市の当時の地価を調べてみました。

**八千代台南2丁目住宅地:**2025年の公示価格が坪48万円に対し、1992年の公示価格は坪120万円。実に2.7倍の下落。

**八千代台駅前商業地(三井住友信託銀行前):**2025年の公示価格が坪145万円程度に対し、1992年の公示価格は坪990万円。実に7倍の下落です。この地価のデータからも、バブル経済の凄まじさと、その後の影響の大きさを改めて実感することができます。

最後に、私の勤める千葉銀行八千代支店についてです。八千代支店は1969年9月に開店しました。1992年4月当時の支店長は内野明で、13代目の支店長でした。私は現在、31代目の支店長を務めさせていただいております。そして、当時の銀行業界にとって大きな変化だったのが、

「大晦日が銀行の休日になった」ことです。それまで銀行は大晦日も営業していたのですが、1992年から休日となりました。また、当時の銀行員の初任給は17万円でしたが、来年の初任給は28万円と、約1.5倍になっています。このように、当時と現在では、社会情勢、経済状況、そして銀行業界も大きく変化してきました。高金利時代から低金利時代へ、バブル崩壊とIT化の進展、そして少子高齢化やDXの波など、銀行を取り巻く環境は激変しました。

私が銀行に入行した頃は、電卓と手書きの帳票が主流で、携帯電話ではなくポケベルの時代でした。しかし、今はシステム化が進み、お客様との接し方も多様化しています。しかし、お客様のニーズに応え、地域経済の発展に貢献するという銀行の使命は、入行当時も今も変わりません。

私が入行した1992年当時、お客様からよく聞かれた言葉があります。

「銀行は1円合わないだけで帰れないんでしょ？」

というものです。皆様の中にも、そう思われていた方がいらっしゃるかもしれません。銀行は午前9時に開店し、午後3時には窓口が閉まります。その後、勘定を合わせた後に、残りの業務を終わらせて帰宅となります。当時の業務は、今とは大きく異なりました。印鑑照合から、支払い、入金、お振込、税金関連など、大半の処理を手作業で行っていました。また、当時は今の1.5倍以上の来店客数でもありました。もちろん、間違いがなければ、午後3時半頃には、その日の勘定がぴたりと合い、一安心といったところです。しかし人間が処理する以上、間違いはつきものです。例えば、入金と支払いを打ち間違えたり1234円の支払いを誤って12340円と入力してしまったり。このような桁間違いがあると、当然ながら勘定は合いません。もし1枚の伝票の打ち間違いであれば比較的早く見つけられますが、複数枚に間違いが散らばっている場合は大変でした。文字通り、1枚1枚伝票を見直し、時には夜の8時頃まで勘定が合わないということも、稀にはありますが、実際に起こっていました。しかし、時代は大きく変わりました。今はシステムの進化により、勘定が合わないということはほとんどありません。おかげさまで、

お客様から「1円でも合わないと帰れないでしょう」と聞かれることもなくなりました。

さて、私が銀行員になって20代の頃、お客様からよく言われたことがもう一つあります。

「銀行員だから、お礼を数えるのはプロでしょう？」

という言葉です。当時の若手営業の主な仕事は、取引先への集金でした。時には一千万円以上もの現金を数える事もありました。お客様の元へ伺えば、ついでにとばかりに小切手や現金の入金を頼まれることも多く、おかげさまで皆さまよりはお札を速く、そして正確に数えることはできます。しかし、皆様が思っているような、プロではなくアマチュアのレベルでした。皆さまが思い描く、お札を華麗に、そして正確に数える「札勘のプロ」と呼べるのは、1980年以前に入行した私よりさらに先輩の世代でした。彼らの指先が職りなすそのスピードと正確さは、熟練の職人技と呼ぶにふさわしいもので、まさに「札勘のプロ」という称号がぴったりでした。しかし今は時代が大きく変わりました。キャッシュレス化が進み、集金業務も大幅に減少しました。営業担当がお客様から現金を預かる機会も、ほとんどなくなっています。そのため、残念ながら、そのような「札勘のプロ」と呼べるような銀行員は、今の職場にはもういません。一方で、今の若手行員は、私たちが行っていなかった投資信託や保険、遺言信託など、お客様の資産形成やライフプランニングに関わる多岐にわたる提案を行っています。IT化によって単純作業が減った分、お客様のより複雑なニーズに応えるための専門知識やコンサルティング能力が求められるようになりました。

次に当時の営業活動についてお話させていただきます。支店に配属され、私の最初のやるべき仕事は担当エリアの地図をコピーし、顧客先を色塗りすることから始まりました。1990年代はナビがなく、方向音痴でさらに地図を見るのも苦手だった私にとって、訪問先を見つけるのは至難の業でした。何度も何度も地図を見直すために車を止め、やっとの思いでお客様の自宅に伺ったことを思い出します。もし当時ナビがあれば、私の実績はもっと向上したに違いありません。

当時は朝9時の開店から夕方まで顧客訪問が当然で、日中に事務処理をしていれば上司に叱られました。毎月設定される強化月間の目標達成に向け、皆で必死に努力し、稟議などの内部業務はその日決めた目標達成した後、日が暮れてから終わるまで、あるいは終わらなければ自宅に持ち帰って仕事するのが当たり前でした。まさにリゲインの「24時間戦えますか」という時代だったのです。

当時の仕事は野球に例えられます。ワールドシリーズ第3戦の延長18回まで戦ったドジャース対ブルージェイズ戦のように、目標達成まで、仕事が終わるまでやり続けるのが常でした。仕事が終わる夜9時や10時から上司に飲み連れて行かれ、終電で帰れば幸運で、タクシー帰りも珍しくありませんでした。そのころ上司の呑みの誘いには、「イエス」と「はい」しか返事はありませんでした。今思い返すと体力的な厳しさはありましたが、ストレスは今ほど感じませんでした。もちろんタクシー帰りで金銭的な余裕はありませんでしたが、皆で頑張る一体感や目標達成の喜びは、今よりも強く感じられました。

一方、現代は仕事のスタイルが大きく変わりました。仕事が終わるまでではなく、時間内に終わらせる、自宅での仕事はNG、限られた時間で働く、いわばサッカーのような時代です。そのため、限られた時間で高い成果を出せる能力を持つ人に仕事が集中し、優秀な人はさらに優秀になり、そうでない人が追いつき追い越すのは困難な時代だと感じています。当然、今は仕事が終わった人から順に帰宅するため、昔のように皆で支店を出ることも少なくなり、私自身も部下を飲み誘いづらい風潮から、飲みに行く機会も減少しました。しかし、私にとっては、この「当時」という時代があったからこそ、今の私があると思っています。

私は決して優秀な人間ではありませんでしたが、優秀な人の2倍、3倍の時間をかけ、納得いくまで仕事に取り組む機会があったからこそ、落ちこぼれずに今があるのです。そして、仕事終わりに皆で飲むビールは、何よりも美味しかった思い出です。

現在の新入行員の研修制度についてお話をさせていただきます。私がかつて新入行員だった頃も、研修所での研修が月に3、

4日程度ありました。当時の研修は座学中心の基礎知識の習得を目的としたものが多く、あとは現場でのOJT。つまり実践を通して学ぶことがほとんどでした。右も左も分からないまま営業に出向き、お客様の依頼にひとつひとつ先輩に教わりながら、業務を覚えていったものです。まさに「現場で覚えろ」という時代でした。

しかし、時代は大きく変わりました。特に近年は、各支店で新入行員をじっくり育成する時間的・人的余裕が少なくなっています。そこで今年から本部で、最高の顧客体験を創造するため、そして法人営業初心者である新入行員の早期育成を目的に、11月から新しい研修プログラムをスタートさせました。その名も、「みんなの虎の穴」こと「みんとら研修」です。このみんとら研修は、大きく3つの柱で構成されています。

1. 基礎知識の習得のための座学
2. 実践的な演習のためのロープレ
3. 実際の業務に即した協議作成等の業務学習

これらを組み合わせ、最終的には支店長経験者を相手にした卒業試験、具体的にはロープレと協議作成が行われます。まさに、座学で得た知識を、実践的な演習を通して血肉化し、本番さながらの状況で試される、一貫通貫のカリキュラムとなっています。この研修の最大の特徴は2点あります。

- 1点目は、「実践重視のカリキュラム」です。単なる知識詰め込みではなく、実務に直結する内容を重視しています。
- 2点目は、その実践を可能にする切り札、「しなりおくん」を活用したAIロープレです。

「しなりおくん」とは、営業スキルを効率的に高め、日々の業務で必要な情報を素早く手に入れられるAIアシスタントです。具体的に何ができるかというと、

- ・トークスクリプトの作成
- ・知りたい情報の収集
- ・決算書のヒアリング演習
- ・営業のロールプレイング演習

特にこの決算書のヒアリング演習である「決算道場」機能は、しなりおくんが架空の

決算書を作成し、社長役を演じてくれます。新入行員は、その社長に対してヒアリングを行い、決算書のポイントを掴んだり、粉飾を見抜くトレーニングまでできます。ヒアリング後には、しなりおくんが能力を評価し、決算書に隠されたポイントを解説してくれる優れものです。まるで、ベテランの先輩がマンツーマンで指導してくれるようなものです。

次に実際のロープレ演習がどのようなものか、少しだけご紹介します。たとえば、「男性、40代、会社社長、融資の申込」という設定をしなりおくんに投げかけます。すると、しなりおくんは、

- ・名前:田中健太(45歳)
- ・職業:株式会社田中製作所代表取締役
- ・性格:真面目で実直だが、新しいことには慎重。社員や家族を大切にします。
- ・ニーズ:事業拡大のための資金調達、経営に関する相談パートナー。
- ・現在の悩み:工場の老朽化、原材料費の高騰、後継者問題。
- ・銀行への期待:事業成長をサポートする親身な提案、経営アドバイス、迅速な対応。
- ・今回の面談設定:工場の建て替えに向けた新規融資の相談。
- ・備考:地域貢献意欲あり、環境問題にも関心、ゴルフ好き。

といったように、非常に詳細な顧客プロフィールを生成してくれます。新入行員は、この架空の社長を相手にロープレを開始します。そして演習が終わると、AIが5点満点で評価し、総評はもちろんのこと、「良かった点」「改善すべき点」まで具体的に教えてくれるのです。昔の現場OJTでは、先輩の指導は属人的になりがちでしたし、実践経験を積むにも限界がありました。しかし、「みんとら研修」と「しなりおくん」の導入により、新入行員は、多様な顧客パターンを、いつでも、何度でも、そして実践的なフィードバックを受けながら経験できるようになりました。私が経験した「手探りのアナログな時代」の学びは、今、「AIが提供する高度なデジタル教育」へと進化し、新入行員の能力開発を強力に推進しています。かつての現場OJTで課題であった指導の個人差は、「しなりおくん」の登場により是正され、誰でも一貫性のある実践的なフィードバックを受けられるように

なりました。これは、伝統的な知見とAI技術が相乗効果を生み出し、より効率的で質の高い人材育成を実現することで、銀行の持続的な発展に貢献する重要な戦略であると思われます。

本日は、銀行員の「今と昔」で特徴的なエピソードをお話しさせていただきました。私が銀行に入行した頃の「1円合わないと帰れない」という昔話から、「24時間戦えますか」とばかりに顧客のために奔走した日々、さらには現代のAIを活用した研修に至るまで、様々な場面で銀行業務の変遷を感じていただけたかと思います。しかし、この変化は決して昔の否定ではなく、むしろ昔の良い部分を土台とした、より良い未来への進化であると捉えています。具体的に申し上げますと、

一つ目は「業務効率化によるお客様への価値創造」です。かつては手作業で行っていた勘定合わせや入金処理が、システムの進化で大幅に効率化されました。これにより生まれた時間は、お客様の資産形成やライフプランニングといった、より深く本質的なニーズに対応するためのコンサルティングに使えるようになりました。昔の地道な作業で培った正確性はそのままに提供する価値の質が高まっています。

二つ目は「人間的な繋がりと専門性の融合」です。昔は足で稼ぐ、汗を流してお客様との信頼を築きました。今もその人間関係の重要性は変わりませんが、そこに投資信託や保険、遺言信託など、お客様の未来を具体的にサポートする専門知識と提案力が加わりました。昔ながらの人間味あふれる関係性と、現代の高度な金融知識が融合し、お客様にとってより頼れるパートナーへと進化しています。

そして三つ目は「伝統と革新が共存する人材育成」です。かつてはOJTで先輩の背中から学んだ「現場の知恵」が中心でしたが、今では「みんとら研修」のような体系的なプログラムとAIアシスタント「しなりおくん」が、実践的な学習を効率的にサポートしています。これにより、昔の経験則による学びと、現代のテクノロジーによる客観的なフィードバックが融合し、誰もが質の高いプロフェッショナルとして成長できる環境が整っています。このように、銀行員は昔の経験から得た知見と、現代のテクノロ

ジーを巧みに融合させることで、業務の効率化だけでなく、お客様への提供価値を最大化し、社員一人ひとりの成長も促進しています。過去の努力が無駄になるどころか、未来を創造するための確かな土台となり、銀行の働き方はよりスマートに、よりプロフェッショナルへと進化を続けているのです。

本日は、私の拙い卓話にお付き合いいただき、誠にありがとうございました。銀行のパーパスである「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」そしてビジョンである、「地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループ」という目標にこれからも頑張っまいます。私たちが日々の業務において、常に立ち返るべき「三つの誓い」。「お客様の思いの実現」「お客様の課題の解決」「お客様の豊かなライフスタイルの実現」に繋がるかを考え抜くこと。これは、行員一人ひとりの行動の指針であり、この地域に根差す金融機関としての私たちの存在意義そのものです。そして、私たち行員が「共に走り続ける人に。」なるために、「考え抜け」「自分の強みを持って」「仲間を増やせ」という人材育成方針のもと、日々研鑽を積んでおります。皆様とのご縁も、まさしく「仲間を増やす」ことの一つだと感じております。

最後に、25代八千代支店長であり、専務の山崎が最近話された「先義後利」(せんぎこうり)という四字熟語を、皆様へのメッセージとしてお送りしたいと思います。「義」は道徳や道理を、「利」は利益を意味します。孟子の言葉に由来し、「人として道徳や道理を一番に考え、利益はその後に考えるべき」という教えです。この言葉は、私たち千葉銀行がこれからも地域社会と共に歩み続ける上で、決して忘れてはならない精神です。本日の卓話が、皆様にとって、そして私たちが目指す地域社会の未来について、少しでもご理解を深めていた

だく機会となれば幸いです。本日は誠にありがとうございました。

**青少年奉仕委員会 委員長 稲山雅治**

本日の托鉢は45,000円でした。みな様のご協力に感謝致します。

**ニコニコ BOX~ ¥49,000-**

☆初めての卓話で緊張しています。先崎  
 ☆当委員会の先崎会員に卓話をお願いしました。よろしくお願い致します。山浦  
 ☆先崎さん卓話楽しみです。  
 橋本・葉山・上村・君塚・佐々木・日下部  
 佐久間・鈴木健治・朝戸・菊川・鈴木利雄  
 寺沢・上代・三井啓久・宮野・永田・遠藤  
 稲山・江頭・杉・久土地・安宅  
 ☆レヒーナさんようこそ。日下部・鈴木利雄  
 ☆欠席がちですみません。鈴木利雄  
 ☆寒くなりました。早めにガストーブを用意しましょう。11/14・15イオンでイベントをやっています。三井啓久  
 ☆大谷翔平MLBで4回目のMVP。バリーボンズに次ぐ単独2位です。杉  
 ☆レヒ、スピーチ頑張れ！学生生活の運営費の為、托鉢宜しく願います。稲山  
 ☆レヒ頑張っ！久土地  
 ☆ラーニングセミナーへご協力、心より感謝申し上げます。お蔭様で盛会のうちに終了しました。3/7のIMも願います。杉山  
 ☆11/1「伝統ある話芸」ご協力頂き、  
 ありがとうございます。田村  
 ☆ラーニングセミナー欠席すみません。安宅  
 ☆11/16～23オーエンス市民ギャラリーで芸術文化協会による芸術祭が行われます。写真部の作品を見に来て下さい。山崎  
 ☆先週末能登に出張しました。まだまだこれから復興という状況でした。三井仁晶  
 ☆伊勢神宮を参拝しました。佐野  
 ☆先週休みました。山崎・中島仁

**友愛 BOX~ ¥4,000-**

☆50歳になりました。  
 ありがとうございます。田村

近隣クラブ例会日		例会場					
火曜日	四街道R.C	四街道ゴルフ倶楽部	11/14	54	50	45	90.00
火曜日	八千代中央R.C	ウィシユトンホテル・ユーカーリ					
水曜日	習志野R.C	習志野商工会議所会館					
水曜日	佐倉中央R.C	ウィシユトンホテル・ユーカーリ 最終ホバート夜間					
木曜日	佐倉R.C	佐倉商工会議所					
木曜日	習志野中央R.C	習志野商工会議所会館					

11月のロータリーレート1ドル¥154-

- クラブ広報委員会 委員長：花島文成 副委員長：寺沢一三
- 出席委員長：大曾根 直※欠席の際は必ず月曜日迄に出席委員長に連絡して下さい
- 例会日：金曜日 12:30～13:30
- 例会場：パツ・ウァイター(〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ1F:FAX047-450-0050)